

身体と音 即興・対話・空間 “体験する×観る” の三日間 境界をまたぎ、どこまでも未完の風景へ

ワークショップと連動して行われる本公演は、身体と音が同じ時間と空間を共有しながら、少しずつ関係を深めていく場です。沖と陸 — 地続きでありながら、重なり合うことのない距離。チェロとダンスが、時に呼応しながらも、互いを追うことなく進んでいきます。その関係性や隔たりに挑むパフォーマンスを、ひとつの風景としてぜひご体感ください。

日程・タイムテーブル | ◎各回2部構成、同じ流れで進みます

2026.4/10 [金] ① 18:30 開始 [休憩 15分] ② 19:45 開始 — 20:30 終演予定

4/11 [土] ① 11:00 開始 [休憩 15分] ② 12:15 開始 — 13:00 終演予定

① 16:00 開始 [休憩 15分] ② 17:15 開始 — 18:00 終演予定

4/12 [日] ① 11:00 開始 [休憩 15分] ② 12:15 開始 — 13:00 終演予定

◎ 4/12 終演後にアフタートーク + 懇親会あり

①参加時間 | 生演奏チェロの中で身体をひらくダンスのワークショップ (60分)

定員 | 30名 ※ダンス経験不問

- ・着替えるスペースがございます・靴は脱いで、リノリウムの上で動いていただきます (靴下着可)
- ・水分補給用に飲料は各自お持ちください・遅れての参加も可能です (見学可)・大きな荷物の持ち込みはご遠慮ください

②鑑賞時間 | 『沖に降る雪』パフォーマンス (45分)

身体 | 佐藤 郁、三橋俊平、松本大樹 音楽 | 五十嵐あさか

会場 | すみだパークギャラリーささや (東京都墨田区横川 1-1-10)

<アクセス>・JR 総武線 / 錦糸町駅 (北口) より徒歩 15 分・都営浅草線 / 本所吾妻橋駅 (A2 出口) より徒歩 13 分・都営浅草線・京成線 / 押上駅 (A2 出口) より徒歩 14 分・半蔵門線・東武線 / 押上駅 (B2 出口) より徒歩 15 分 ※半蔵門線・東武線からは A2 出口には出られません・東武伊勢崎線 / とうきょうスカイツリー駅より徒歩 12 分



チケット料金

| | 一般 | U24 (24歳以下) |
|---------------------------------|---------|-------------|
| 【単券】 参加時間 (WS 参加) | ¥2,000 | ¥1,500 |
| 鑑賞時間 (公演観覧) | ¥4,000 | ¥2,000 |
| 【セット券】 参加時間 (WS 参加) | ¥5,000 | ¥2,500 |
| + 鑑賞時間 (公演観覧) | | |
| 【リピート割】 単券 鑑賞時間 (公演観覧) | ¥3,500 | |
| セット券 参加時間 (WS 参加) + 鑑賞時間 (公演観覧) | ¥4,000 | |
| 【3日間 / 4回通し券】※ドネーション含む | ¥15,000 | |
| ◎特典あり (3月中にリハーサル見学+記録映像の限定公開) | | |

◎単発、連日参加、お一人様またはグループでも、ご都合に合わせてご参加ください!!

チケット購入 |

Square <https://ancello.square.site/>

Google フォーム <https://forms.gle/wdRwhKF8s4xacuqq9>

※当日精算をご希望の方は Google フォームよりお申込みください
※ Google フォームを使用できない方は、右記メールアドレスからお申込みください



Square



Google フォーム

ancello プロフィール

ancello は、dance (ダンス) と cello (チェロ) を組み合わせせた造語。
“d” を外すことで、二つの表現が芯からひとつに融合する願いを込めています。

松本大樹: 身体が語る「詩人」の表現

研ぎ澄まされた身体を通して感情や情景を紡ぎ出す「身体の詩人」。重力と呼吸を味方につけた繊細かつ力強い動きと、音との対話から生まれる即興的な表現は、まさにその瞬間にしか存在しない「生きた詩」です。

五十嵐あさか: チェロと声が織りなす「無双」の響き

その深く豊かなチェロの音色に加え、弾きながら歌い、声帯模写もこなす表現者。まるで呼吸をするように日常のかけらからインスピレーションを得て作曲し、演奏へと昇華させる才能はジャンルを超えて引く手も数多。時に研ぎ澄まされた静寂を、時にラテン的な躍動感を、時に和的なおかしみを。

credit

演出・構成・振付・出演 | 松本大樹 音楽・演奏 | 五十嵐あさか
出演 | 佐藤 郁、三橋俊平 衣装・刺繍 (フライヤー表) | MIO
題字 (フライヤー表) | めぐちゃん 舞台監督 | 武田ゆり子
記録撮影・フライヤー写真 | 片岡陽太 記録映像 | 小林春美
協力 | 上地 泉 制作・フライヤーデザイン | 滝沢優子 制作 | 照井裕子
主催 | ancello お問合せ (メール) | ancello2025@gmail.com
WEB | <https://ancello2025.wixsite.com/ancello>
instagram | @ancello2025



WEB



instagram

本企画について

年齢や経験、立場の異なる人たちが、それぞれの身体と向き合いながら、他者の存在や空間から何かを受け取り、前へ進もうとする姿。「人間が何かを行うこと」そのものの尊さを、松本大樹は何度も目に焼きつけ実感してきました。この企画は、その日々のクラスやワークショップでの経験がひとつの出発点です。特にコロナ禍が明けた頃。好きだから、得意だからではなく、ただ生きるように「行う」——その切実な光景に触れるなか、「完成された作品」だけではない、演者が積み重ねているプロセスに宿る息づかいや勢い、実感そのものが、観る人に深く作用するのではないか——そう感じるようになり、その価値を、あらためて見つめ直そうとしています。

松本と五十嵐あさかは 2023 年以降、ダンスとチェロによる実験的なワークショップを重ね、「重力」「呼吸」「即興性」という共通要素に裏打ちされた、予定調和に収まらない協働の手応えを持ちました。その中で立ち現れてきたのが、常に変化し続ける関係性——私たちが「生態」と呼ぶものです。

会場には、日常から少し距離を取りつつ、どこかに生活の温もりをも感じさせるギャラリー空間「すみだパークギャラリーささや」を選びました。水飴工場跡をリノベーションしたこの広々とした空間で、立ち上がる身体と音の関係が、理解の立ち入れないまま常に変容し続けます。決して定まらず、二度と同じにならないその自由で不可解なありようこそ、私たちは時に、美しさを察知するのではないかと。時間の重なりが包まれていき、安心して多様な表現と触れ合いながら、そんな問いを共有する場、機会になればと考えています。